

三陸の海を放射能から守る

岩手の会

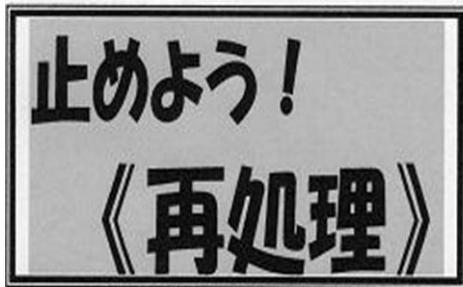
郵便振替 02240-5-102650

ホームページ《再処理／岩手の環境》

http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm

《まった再処理分庫》

http://briefcase.yahoo.co.jp/k\_imag



《天恵の海》

2011(平成23)年

9月 29日

第103号

編集事務局 S.Oshida

TEL・FAX 019-623-1636

# 命を守るために原発は廃炉に！ 6万人が全世界に発信

## 脱け出そう 原発事故の心配ない社会へ！



九月十九日、東京明治公園で開催された「さようなら原発5万人集会」は、六万人以上の結集をみて開催されました。「福島原発事故は絶対に許せない」「脱原発、放射能に命を脅かされない社会をめざそう」という声が日本から全世界に発信されました。  
(写真はUチューブ録画から撮影)

## 9・19 さようなら原発大集会

### 1000万人署名のキックオフ集会

集会の冒頭、呼びかけ人の鎌田慧(ルポライター)さんは「集会に集まった皆さん、全国のみなさん。本日の集会は三・一一以来日本中に巻き起こった集会の一つの結節点です。原発に、もう絶対会いたくないという意味の『さようなら』のメッセージを、原発に突きつけるために集まりました。本日の集会を一〇〇〇万人署名の出発点として、来年三月の集約集会の成功をめざし、共に頑張りましょう」と挨拶しました。

このあと大江健三郎(作家)さんは「国民投票で脱原発を果したイタリアはもう原発で生命を奪われることはない。日本も市民の民主主義で脱原発をめざそう」と挨拶し、落合恵子(作家)さんは「夜中に幼児が放射能来ないでおびえる国」を作ってしまった今の日本を語りました。さらに澤地久枝(作家)さんや山本太郎(俳優)さんがそれぞれの思いを語りました。

\*集会での挨拶は主催の『さようなら原発・一〇〇〇万人アクション』ホームページに収録文があります。

どうしたら原発と対極にある新しい世界をつくらうのか

ヒロ(廃炉)アクション

武藤類子さん



福島は美しいところ  
です。三・一一を境に、その風景に目には見えない放射能が降り注ぎ、私達はヒバクシャになりました。大混乱の中で私達には様々なことが起こりました。素早く張り巡らされた安全キャンペーンと、不安の中でどれだけの人が悩み、悲

福島県民に温かい手を差し伸べ支援してくださった方々にお礼申し上げます。

苦渋の日々が始まった

お立ち下さい。福島から参りました。

しんだことでしょうか。毎日毎日否応なく迫られる決断。逃げる、逃げない。食べる、食べない。子どもにマスクをさせる、させない。洗濯物を外に乾す、乾さない。畑を耕す、耕さない。何かにも申す、黙る。様々な苦渋の選択がありました。

### 明らかになったこと

今、半年という月日の中で次第に鮮明になって来たことは、事実を隠されるのだ。国は国民を守らないのだ。事故は未だに終わらないのだ。福島県民は核の実験材料にされるのだ。莫大な放射能のゴミは残るのだ。大きな犠牲の上になお、原発を推進する勢力はあるのだ、ということなのです。

### 福島県民は立ち上がる

福島県民は今、怒りと悲しみの中から静かに立ち上がっています。子どもを守ろうと母親が父親が、おじいちゃんがおばあちゃん。自分の未来を奪われまいと若い世代が。大量の被ばくに曝されながら事故処理にたずさわる原発労働者を助けよう

# 「原発いらない」 すごい人波だった

「さようなら原発集会」には岩手からも多数参加しました。「岩手の会」から駆けつけたひとり河内修さんが、集会の様子を次のように報告しています。



## 岩手からも多数参加

**河内さん談**  
一時半からの明治公園の集会に駆けつけましたが、もう人が、本当にいっぱい入れませんでした。場外にも次々に集まって来ていて六万人は優に越えたと思います。  
『再処理止めなさい！原発止めなさい！経産省別館前月例行動』を続けて来た首都圏市民の集いの一つの「たんぼ舎」の人達がいきましたので、合流しパレードに参加してきました。会場から三方に分かれ

て出発し、私は神宮前を通り代々木公園まで歩きました。親子連れや若い人達も多くいました。代々木公園の解散集会では各構成団体からの報告を話してもらいました。岩手からも、市民や平和環境団体の方達も参加したと聞いてます。  
このような集会やパレードを全国各地でさらに起さなければ原発推進の流れを止めることは難しいと感じました。

さず、全部止めるには、福島原発事故の実態から学び、各地反原発運動の情報共有と創意ある方針が必要です。

### 再処理工場の液体状の危険な高レベル廃液

#### 国会議員に訴え

九月十六日、「岩手の会」の永田文夫さんと「岩手のサンマを愛する会」の豊間根香津子さんは、川田龍平参議院議員に面会し、六ヶ所・東海再処理工場にある『高レベル廃液の安全管理について』質問主意書を国へ提出するよう依頼しました。次いで、三十人の国会議員を回り、再処理工場の危険な実態を訴えました。川田議員は二二日質問主意書を参議院議長に提出しました。

### 全国各地でデモ

「一〇〇〇万人アクションホームズ」掲示板で予告されている、九月十一日から一週間の屋外集会やパレードは札幌から那覇まで、ざっと数えて三四ヶ所に上ります。

### 原発の運転再開を許さない！ 全国討論集会

九月十七日東京で、全国十四都道府県を越える各地から運動を担ってきた市民が参集し討論を深めました。  
現在運転中の原発は十一基です。運転再開を許

私達は放射能について学び、そしてどこにも出かけ福島を語りまします。私達を助けて下さい。どうか、福島を忘れないでください。  
**私達は変わる勇気を持つている**

どうしたら、原発と対極にある新しい世界を創ってゆけるのか。誰にも見えず、明確な答えは

わかりません。でも一人一人が本当に本気で自分の頭で考え、自分が出来ることを決断し、行動するものは出来ることだと思っております。私達は変わる勇気を持っています。

原発を推し進めようとする勢力が垂直にそびえる壁ならば、限りなく横に広がり、繋がりが続いてゆくことが私達の力です。たった今、隣りにいる人とそとと手を繋いで見て下さい。  
道のりがどんなに過酷であつても、軽やかに朗らかに生き延びてゆきましよう。ありがとうございます。

## 福島の市民、NYで反原発訴える 国連本部前でデモ

日本の新聞は3面などに小さく伝えていますが、海外のメディアやインターネットの情報によると以下のようなようです。

◇原子力安全首脳会合が開かれたニューヨークの国連本部前で、22日、福島県の市民団体「子供達を放射能から守る福島ネットワーク」や米国市民団体のメンバーらがデモ集会を開催し「国連よ、原子力利用を推進するのはやめろ」「原子力による惨事はもう見たくない」と訴えました。  
◇川俣町の農家の佐藤幸子さんらは、国連横にある日本文化会館から17時30分に出てきた野田首相に、「福島の子供達を守れないのに、原発の安全を世界中に言うのは卑怯だ」と叫び、訴えました。

◇ニューヨークでの市民講演会などを終えた一行は、25日夜帰国し、成田からそのまま、経産省まへの入り込み合流し、そこでアメリカ訪問報告の記者会見を行いました。  
10月には、全国原発立地自治体から100人の女達が、経産省前座りこみに合流す予定です。